



東しみん

東風 ~こち~



中央手術部のご紹介



整形外科 人工関節手術



中央手術部長
木村 昌弘

はじめに

中央手術部は救急・外来棟の3階にあり、集中治療センターと併設されています。

この部門は、病院の中でも特に大切な機能を持っています。

手術室は10室構成で、隔離が必要な感染症患者用の陰圧手術室も併設されています。

全体で31名の看護師、12名の臨床工学技士が常駐し、年間約4,100件の手術を行っています。

当院手術室の特徴

最も力を入れているのは4室からなる「ラパロセンター」です。

「ラパロ」とは「体腔鏡下手術」のことで、内視鏡と数本の鉗子を使用し、モニターを見ながら手術を行う方法です。

開胸や開腹とは違い、3-4箇所を小切開するだけなので、手術の傷が少ない手術法として盛んになっています。

ラパロ手術の一番の特徴は、術後の痛みが半減することです。また術後回復期間（退院までの日数）も従来に比べて半分になる利点があります。さらに、内視鏡により深部まで見えるようになるため、出血量の減少が期待できます。前立腺癌の開腹手術は出血量が多い手術ですが、ラパロ手術では約1/10まで減少させることができます。一方、手術時間は従来と比べて約1.5~2倍長くなります。

安全性を含めて総合的に考えれば、ラパロ手術は患者さんにかなりのメリットがある方法です。ラパロセンターは、この手術に必要な特殊な器具や専用のモニターを整備した専用手術室です。



ラパロセンターでの体腔鏡下手術



安全な手術を受けていただくために

全身麻酔や外科手術が必要になれば、誰しも不安を感じます。事前に担当医から、手術の目的や合併症などについて説明がありますが、それでも十分に不安が解消されないこともあります。

不安・疑問は、術前に訪問する麻酔科医師や看護師に遠慮なくお尋ねください。担当医に話し忘れたこと、体調に関する些細な疑問など、何でも結構です。

患者さんの情報をできるだけ多く集めて、手術が支障なく終わられるようにすることが手術室スタッフの仕事です。是非ともご協力をお願いいたします。



もう一つの特徴は、血管撮影装置を整備した「ハイブリッド手術室」です。

大動脈瘤（だいどうみゃくりゅう）は生死に関わる非常に怖い病気で、一旦破れてしまうと、全身状態が急速に悪化して非常に危険な状況となります。

従来は、全身麻酔を行って人工血管に置き換える、体に負担の大きい治療法しかありませんでした。しかし最近では、血管撮影装置を使い、ふとももの内側にある大腿動脈から、「ステントグラフト」という特殊な人工血管を挿入する「カテーテル治療」を行うことが増えてきました。

カテーテル治療は、状態によっては局所麻酔でも行うことができます上、手術時間自体もかなり短縮されるので、患者さんの状態をさらに悪化させることはありません。万が一病状が悪化した時には、手術室内でそのまま全身麻酔へ移行し、手術後は併設された集中治療室で厳重な管理を行います。



ハイブリッド手術室でのカテーテル治療

最後に

日本は超高齢化社会に突入しています。当院でも高齢者の割合が増加し、100歳を超える患者さんの手術例があります。

中央手術部ではこうした患者さんに対しても、安心して安全な治療が行えるよう、最先端の医療機器を整備するとともに、細心の注意を払って手術を実施しています。

手術室へ入室するのは、命が助かって元気で帰るためです。この最終目標に向けて手術室スタッフは日々精進しています。

手術が必要となっても、どうぞ安心して治療を受けていただきたいと思います。





女性泌尿器科 専門外来の ご案内

泌尿器科では、2015年10月から女性泌尿器科専門外来を開設いたしました。毎週木曜日に、女性のおしっこの事や下半身のお悩みに特化した診療をおこなっています。

どんなときに受診すればいいの？

このような症状があれば、
気軽に受診してください。



- おしっこが近くて困る（頻尿、尿意切迫感）
- おしっこが漏れる（尿失禁）
- おしっこがスッと出ない（排尿困難）
- 膣から何か出てきている（骨盤臓器の下垂感）
- おしっこをためるとお腹が痛い（蓄尿痛）



女性泌尿器科外来の2大疾患



女性泌尿器科では診療の中心としている疾患が2つあります。腹圧性尿失禁と骨盤臓器脱という疾患です。

2つの疾患とも出産、閉経といった女性ならではのイベントが深くかかわっています。

出産経験のある女性の多くは、分娩時に膣を支えている靭帯が傷ついてしまい、閉経後の女性ホルモンの低下により組織が弱くなります。それにより、骨盤の中の臓器が下に落ちてきて、さまざまな症状を引き起こします。

腹圧性尿失禁

お腹に力をいれると、おしっこが漏れてしまう疾患です。咳やくしゃみなどすると下着が濡れてしまうので(図1)、尿漏れパットがいつも必要です。

尿漏れが心配で外出するのも嫌になってしまう方もいます。

(図1)



【治療法】

①骨盤底筋体操：尿を漏れにくくする体操です。

②TOT/TVT手術：図2のような尿道を支えるテープを挿入する手術です。

(図2)



女性泌尿器科外来では、女性骨盤底の手術による再建をメインにしておりますが、女性ホルモン低下による、女性ならではの下腹部の違和感や、おしっこのお悩みにも時間をかけて相談のり、治療にかかわっています。

泌尿器科は男性の科というイメージで、悩みを抱えたままの女性はたくさんいらっしゃると思います。

女性泌尿器科専門外来がそのような方々のお役にたてるよう、スタッフ一同がんばってまいります。



骨盤臓器脱

膣から、膀胱、子宮、直腸などが下にさがってきて出てくる疾患です。下着と膣がすれて血が出て痛い、出てきた膀胱を手で持ち上げないと排尿できないなど様々な事で日常生活の質を低下させてしまいます。

症状がなければ何もする必要はありませんが、日常生活に支障が出ている場合は手術で治療することが可能です。

【治療法】

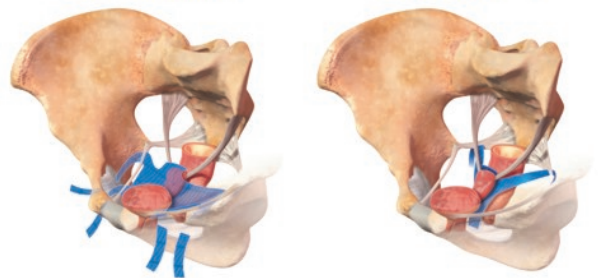
①TVM手術

膣からメッシュを挿入し、骨盤の底に広げ臓器をハンモックのように支えて、膣から出てこないようにする手術です(図3)。手術時間は45~90分と比較的短時間ですので、高齢の方でも安心して行うことができます。

(図3)

前壁メッシュ挿入イメージ

後壁メッシュ挿入イメージ

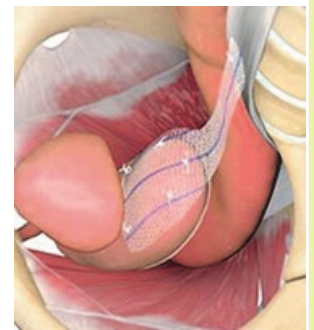


②腹腔鏡下仙骨膣固定術(LSC)

欧米では中心となっている手術です。2014年4月から日本でも保険適応となりました。当科では2014年8月から導入し骨盤臓器脱手術の中心となっています。

膣の前後にメッシュを挿入・固定し、落ちてこないよう上につりあげて仙骨前面の靭帯に固定する手術です(図4)。

手術時間は2-3時間と少しかかりますが、最も安全性も高く、かつ再発率も低い手術です。



(図4)



The Specialist 当院のスペシャリスト

リハビリテーション科

理学療法士

糖尿病療養指導士

近藤 和洋

糖尿病の治療には、患者さんの自己管理が最も大切です。糖尿病とその療養指導に関する幅広い専門知識を持ち、患者さんが適切な自己管理を行えるよう生活指導を行うのが「糖尿病療養指導士」です。

当院では月に1度「糖尿病療養強化週間」を設け、様々な医療スタッフが糖尿病治療に関する講義を行っており、その中で「運動療法」の講義を担当しています。

「運動療法」を続けることで筋肉の活動量が上がり、エネルギーを消費しやすい体に変えていくことができます。毎日コツコツ続けることがとても重要で、患者さん本人の意志の強さが最も必要です。

療養指導を行った患者さんが、運動の大切さを理解して、前向きな姿勢で取り組んでいる姿を見ると、とてもやりがいを感じます。今後も、患者さんが楽しみながら長く運動を続けることができるよう、様々な工夫をするとともに、より知識を深められるよう自己啓発にも努めていきたいと考えています。



椅子に座ったままでできるエクササイズなども紹介しています。



糖尿病は、自己管理をしながらうまく付き合っていくことが大切です。最も重要なのは「食事療法」です。食べ過ぎた分を運動で消費するのは困難です。

バランスの良い食事と、適切な運動を心がけ、生活習慣改善に励みましょう！



看護部 フットケア外来

「足」は「第2の心臓」といわれ、人の健康に深く関わっています。人間は足から衰えると言われますが、足を正しくケアすることで、快適な歩行と健康な身体を得ることが出来ます。

しかし、糖尿病の患者さんや高齢者では、足の感覚がにぶくなるため、痛みやかゆみを感じにくくなり、キズややけどにすぐ気づけなくなります。また抵抗力が弱まるため、細菌や真菌（水虫）などの感染症に対する抵抗力が低下し、キズの治りも遅くなります。



爪の手入れ

このような状態を放置していると、足の形が変形したり、爪がボロボロになったり、潰瘍（かいよう）が起きたりと、様々なトラブルが起こります。さらに悪化すると壊疽（えそ）が起こり、足の切断にまで至ることも少なくありません。

当院では水曜日の午後に、看護師によるフットケア外来を設け、足のトラブルを未然に防ぐためのケアを行っています。

フットケア外来では、最初に足をよく観察し、うおのめ、たこ、爪の状態、潰瘍などをチェックします。次に足の血流検査や、感覚検査を行います。その後足浴で清潔にしてから、爪の手入れをし、最後にマッサージを行います。

日常生活の中で、患者さん自身がフットケアを行うことで、足の健康を保つとともに、足の異変にすぐ気づけるようにすることが大切です。フットケア外来では、足の手入れ方法の指導も行っています。

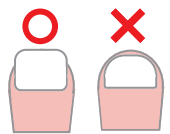


アロマオイルでマッサージ

ワンポイントアドバイス

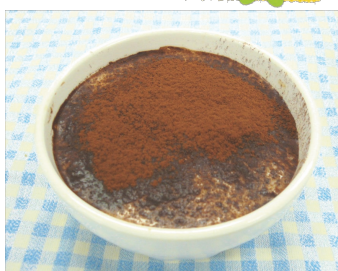
足の爪の切り方

丸く切らずに、四角に切ります。
爪先は横にまっすぐ切ります。
角は滑らかにします。少しずつ切って形を整えましょう。



栄養管理科

ヘルシー レシピ



103kcalとは思えないおいしさです！

サッパリした甘ナ♪ バナナティラミス

材料（1人分）

食パン	12g
クリームチーズ	5g
プレーンヨーグルト	25g
マービー※	10g
バナナ	35g
レモン汁	適宜
インスタントコーヒー	} 適宜
マービー	
純ココア	適宜

下ごしらえ

- ①バナナはレモン汁をかけ、マッシャーでつぶすかミキサーにかける。
- ②クリームチーズは室温にし、やわらかくしておく。
- ③お湯にインスタントコーヒーとマービーを溶かし、シロップを作る。

※マービー
カロリー摂取制限を必要とする方に適した低カロリー甘味料です。
ドラッグストアなどで購入できます。

作り方

- ①食パンを型に合わせてくりぬき、カップの底にひく。
- ②やわらかくしたクリームチーズに、ヨーグルト、マービー、つぶしたバナナを加えて混ぜる。
- ③食パンにコーヒーシロップをたっぷり塗り、②のクリームをカップの上の部分まで入れる。
- ④表面にココアをふる。



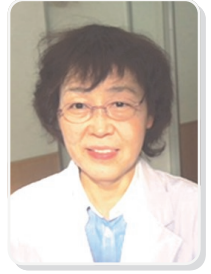
連携医紹介

東部医療センターは「地域医療支援病院」として、地域の「かかりつけ医」と連携・協力し、高度な治療・検査・入院・手術などの急性期医療を提供しています。



出来町クリニック

院長 永田 悦子



「私、ほとんど仕事を休んだことないのよ！」と、元気でパワフルな先生です！



徳川園南にある 出来町クリニックです。当院は内科・小児科を中心に、働くお父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんを応援するクリニックです。小児や大人のかかりつけ医として、感冒や疼痛などの通常の診療をはじめ、予防接種やがん検診、特定健診、また介護の必要なおじいちゃんおばあちゃんの応援もしております。また、かかりつけ医として必要な往診をはじめ、多職種と協力し合いながら、療養指導や訪問診療もしております。高度な医療や手術を要するときは、急性期病院へいち早く正確に紹介できるよう、努力しています。今後も皆様の健康を応援できるよう、スタッフ一丸となって取り組んでまいります。

所在地：〒461-0038 名古屋市東区新出来2-6-7
(基幹バス2番 新出来停留所 南へ徒歩2分)
電話番号：052-933-2335

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	☆
午後 4:00~7:00	○	○	-	○	○	-

☆土曜日午前9:00~12:30
【休診】水曜午後、土曜午後、日曜・祝日

取材スタッフより

高齢者の往診はもとより、小児の往診もされており、「赤ちゃんからお年寄りまでを応援する」という、先生の診療姿勢が良く伝わってきました。



お問い合わせ

東部医療連携センター
TEL723-7359



駐車場のご利用について

新病棟整備工事に伴い病院内駐車場が大幅に減少し、大変混雑しております。ご来院の際はできるだけ公共交通機関のご利用、ご家族等に送迎をご依頼ください。なお、平日に限り第二駐車場をご用意しておりますので、ご利用ください。

第二駐車場のご案内

場所：市営池下駐車場（千種区役所の駐車場と同じ施設です。）

- ※車高制限等がありますのでご注意ください
- ※病院と第二駐車場間の無料送迎バスを運行しています。

料金・利用可能時間：無料・平日8時～20時までの当院利用者に限る

※病院側送迎車両のりばで、駐車券の無料認証が必要です。

第二駐車場の体験会を実施しました！

当院では2月3日(水)から2月26日(金)まで来院者の方に第二駐車場を知っていただくために、体験会を行いました。ご参加いただいた方からは、「送迎車で出入口まで送ってもらえるので、歩かなくてよくて便利」「満車がなくて待つ必要がないのはいいですね」などのご意見をいただきました。ぜひ第二駐車場をご利用ください。



詳細は当院のホームページをご覧ください。総合受付にお尋ねください。



※送迎車両イメージ

当院と第二駐車場の間を15分間隔で運行しています。

お問い合わせ

病院整備室

基本理念

市民の命と健康を守り、「奉仕」「満足」「笑顔」が見える、質の高い医療を提供します。



基本方針

市立病院として市民の健康のために貢献します。医療の安全と質の向上に努め、患者さんの権利を尊重します。

患者さんは以下の権利を有します

- ・個人の尊厳が守られる権利
- ・医療行為を自由に選択し、決定する権利
- ・平等で良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・プライバシーが保障される権利
- ・診療記録の開示を求める権利
- ・セカンドオピニオンを受ける権利
- ・要望を提案する権利

患者さんには以下の責務を果たしていただきます

- ・ご自身の健康に関する情報を提供する責務
- ・他の患者さんへの医療に支障を与えない責務
- ・医療提供者と協力する責務
- ・病院の規則・指示・助言を守る責務

発行者／名古屋市立東部医療センター
広報委員会
(年4回発行)
名古屋市千種区若水1-2-23
TEL052-721-7171
<http://www.higashi.hosp.city.nagoya.jp/>

東部医療センター

検索

